

広域紋別病院救急自動車（転院搬送用）

仕様書

令和8年度
広域紋別病院

第1 総則

1、目的

この仕様書は、広域紋別病院（以下「当病院」という）が令和8年度に購入する病院救急自動車（以下「本車両」という）のシャシ、艤装及びその他これらに関する事項について定める。

2、車両の条件

- （1）本車両は、各種資機材を装備した救急自動車であること。
- （2）車両本体、艤装及び取り付け品は、車両総重量、走行時等の振動に対して耐久性に富むものを使用すること。
- （3）使用取り扱い上の安全性及び操作性を考慮すること。
- （4）清掃、点検、整備及び調整が安全かつ容易に行えるよう考慮すること。

3、適合法令

「救急自動車に備えるサイレンの音色の変更について」

（昭和45年6月10日消防防第337号）

「救急業務実施基準」

（昭和39年3月3日自消甲教発第6号）

「道路運送車両法」

（昭和26年6月1日法律第185号）

「道路運送車両の保安基準」（昭和26年7月28日運輸省令第67号）

その他関係法令に全て適合し、緊急車両として承認が得られるものであること。

4、費用負担

- （1）完成車の登録手続き、車検、回送及び納車完了までの費用は、全て受注者において負担すること。ただし、自動車損害賠償責任保険、自動車重量税及び自動車リサイクル料については、当院が負担する。
- （2）高度救命処置用資機材納入までの費用は、全て受注者において負担すること。

5、発注台数

発注台数は1台とする。

6、納車及び配置

- （1）納入期限

令和9年3月31日（水）

- （2）納入・検収場所

広域紋別病院

7、納入

- （1）車両の納入に際しては北海道運輸局北見運輸支局の新規検査を受けた後、各部の点検整備及び清掃手入れを実施の上、当病院へ納入すること。
- （2）車両の納入に際しては、当病院が支給する高度救命処置用資機材の固

定等の調整を行うこと。

8、納入講習

受注者は、当病院の指定する日時に当病院職員に対し、シャシ、艀装の取り扱い説明を実施すること。

9、保証

- (1) 納入日から起算して1年間とする。
- (2) 保証期間後であっても設計、製作及び材料不良等に起因する不具合が発生した場合は、受注者の責任と負担で修復すること。

第2 提出書類

1、受注者は契約締結後、速やかに当病院と製作上の細部にわたり十分な打ち合わせを行ったうえで、次の書類を各2部（1部返却）A4版ファイルに綴じ込み、当病院に提出、承認を受けた後に艀装を行うこと。

- (1) 製作工程表（中間検査、完成検査予定日を記入）
- (2) 車両諸元明細書
- (3) 車両5面図
- (4) 室内配置図
- (5) 艀装関係配線図

2、納車時に次の書類を1台につき各2部A4版ファイルに綴じ込み提出すること。

- (1) 車両5面図
- (2) 室内配置図
- (3) 艀装関係配線図
- (4) 各種取扱説明書
- (5) 各種保証書

第3 検査

1、中間検査

- (1) 受注者は、製作工程表に基づきシャシ、艀装及び付属品の取り付け状況等について、当病院の行う中間検査を受けること。
- (2) 検査を受けようとするときは、検査予定日の7日前までに検査日時、場所を連絡、検査依頼書を提出し当病院の承認を得ること。
- (3) 検査実施後、指示事項が生じた場合は、指示事項及びそれに伴う変更事項等を明記した報告書を提出すること。

2、納入検査

- (1) 納入時において、本仕様書に基づくほか各種検査を実施し、その結果

- 不合格と認めた箇所については直ちに改修し、再検査を受けること。
- (2) シャシ、艀装付属品及び救急資機材は、車両納入時に全て納入すること。また、員数検査を実施すること。

第4 シャシ、艀装

1、主要諸元等

- (1) シャシ
トヨタ ハイエース
- (2) 型式
TRH-226K
- (3) エンジン
ア 電子制御式レギュラーガソリンエンジン
イ 最高出力118KW以上、最大トルク243N・m以上
- (4) 動力伝達装置 電子制御式オートマチックトランスミッション
- (5) ブレーキ装置
ア 前輪 ディスク式 (ABS装置付き)
イ 後輪 リーディングトレーリング
- (6) 懸架装置
ア 前部 ダブルウィッシュボーン式又はストラット式
イ 後部 車軸式半楕円リーフスプリング式
- (7) 駆動方式 フルタイム4輪駆動方式
- (8) 乗車定員 7名

2、主要寸法

- (1) 全 長 5, 700mm以下
- (2) 全 幅 2, 000mm以下
- (3) 全 高 2, 550mm以下
- (4) 患者室内長 3, 300mm以上
- (5) 患者室内幅 1, 650mm以上
- (6) 室内高 1, 850mm以上
- (7) ホイールベース 3, 400mm以下
- (8) 最小回転半径 6, 300mm以下

3、シャシ主要装備

- (1) LEDヘッドランプ
- (2) 電動格納式リモコンドアミラー (ヒーター付)
- (3) パノラミックビューモニター
- (4) リヤクーラー
- (5) リヤヒーター
- (6) 寒冷地仕様
- (7) SRSエアバック+プリテンショナー&フォースリミッタ機構シート

ベルト

- (8) デジタルインナーミラー
- (9) マッドガード
- (10) サイドバイザー
- (11) フロントLEDフォグランプ
- (12)フロアマット (ゴムタイプ)
- (13) ナンバーフレーム (フロント・リヤ)
- (14) 車両標準工具 (ジャッキ・ホイールスピンレンチ)
- (15) ETC2.0車載器
- (16) ナビゲーションシステム
- (17) スタッドレスタイヤ (ホイール付 4本)
- (18) 運転席AC100Vアクセサリコンセント
- (19) ドライブレコーダー (前後カメラ)

4、外観

車体の構造及び艤装は、救急自動車の運用において最適の構造及び性能を有するものであり、堅牢で長期の使用に十分耐え得る強度を有した全蓋閉構造とすること。

(1) フロントドアステップ

ア フロントドアステップ上面にアルミ縞板を取付け、滑り止めテープを施すこと。

イ フロントドアステップ蹴込み部に保護板を取付けること。

(2) フロントフェンダー部保護シート

フロントドアフェンダー部に塗装保護のためのゴム製滑り止めシートを貼り付けること。

(3) スライドドアステップ

ステップ上面にアルミ縞板取付け、滑り止めテープを施すこと。

(4) 助手席アウトサイドミラー

助手席側ドアミラー上部に補助ミラーを取り付けすること。

(5) イージークローザー

左スライドドア及びバックドアはイージークローザーとすること。

(6) 後部ステップ

ア リヤバンパーの左側に乗降ステップを設けること。

ステップ上面の耐荷重は100kg以上とすること。

イ 同乗者の乗降を補助するために補助ステップを設けること。

(7) 患者室窓部くもりフィルム

ア 後方窓ガラスは、全面くもりフィルム貼りとすること。

イ 左サイド後方窓ガラスは、下2/3くもりフィルム貼りとすること。

ウ スライドドア窓ガラスは、下2/3くもりフィルム貼りとすること。

(8) 患者室カーテン

ア 左サイド後方にスлайドレール付手動カーテンを取り付けすること。

イ スライドドア窓部に手動カーテンを取り付けすること。

(9) 足回り強化

- ア 走行時の地面の凹凸などからの衝撃や加・減速、コーナリングなどの重力による乗員への衝撃を緩和するために減衰力 14 段階調整式のショックアブソーバーに交換すること。
- イ 走行時のカーブでの車両の傾き量を低減させ、乗り心地・車両の安定性を向上させるためにスタビライザーを救急自動車専用品に交換すること。
- ウ 車両や車軸を安定させる強化部材としてリーフスプリングを救急車標準装備品から交換すること。

(10) 足回り塗装

車両の足回りに塩害防止の黒色塗装を施すこと。

5、警光灯・ライト類

(1) 大型散光式警光灯

交差点進入時視認性向上のため、ビルトイン型赤色警光灯を備えること。

- ア ルーフ前面に大型 L E D 赤色警光灯を取り付けること。(対空灯付)
- イ ルーフ後方上面に大型 L E D 赤色警光灯を取り付けること。
- ウ ルーフ両側面に L E D 赤色警光灯を取り付けること。
- エ 電子サイレンスイッチ操作と連動し、全ての L E D 赤色警光灯が同時に点滅する構造とすること。

(2) バックドア底面赤色点滅灯

- ア バックドア後方下部に赤色点滅灯を 2 灯取りつけること。
- イ バックドア開放時に、電子サイレンスイッチと連動して点滅する構造とすること。
- ウ O N / O F F スwitch を設けること。

(3) 助手席ルームランプ

- ア 助手席上部にルームランプを取り付けすること。
- イ スwitch は隊長席から操作可能な至便な位置に取り付けすること。

(4) 患者室ルームランプ

- ア 患者室上部に L E D ルームランプを取り付けすること。
- イ 明・暗 2 段階以上の調光機能を有すること。
- ウ 患者室で点灯・消灯ができる構造とすること。

(5) 患者室スポットライト

- ア 患者室上部に L E D スポットライトを 4 カ所以上取り付けすること。
- イ 角度調整可能なものであること。
- ウ 個別に点灯・消灯ができる構造とすること。

(6) バックドアスポットライト

- ア バックドア上部に L E D スポットライトを取り付けすること。
- イ 角度調整が可能なものであること。
- ウ スwitch は患者室前方と後方の 2 カ所に取り付けすること。

(7) ルーフサイド作業灯

- ア 運転席及び助手席側面上部に L E D 作業灯を取り付けすること。

- イ スイッチは左右個別に運転席付近に取り付けすること。
- (8) フロント赤色補助警光灯
 - フロントグリル部に赤色LED補助警光灯2灯を取り付けること。
- (9) 助手席フレキシブルマップランプ
 - ア 助手席ピラー部にLEDフレキシブルマップランプを取り付けすること。
 - イ ON/OFFスイッチ一体型の構造とすること。

6、サイレン・電源等

- (1) 電子サイレンスピーカー
 - ア 出力50W以上を2個取り付けすること。
 - イ スピーカーはフロントバンパー内に取り付けし、交差点進入時に広角ワイドに拡声できるよう取り付け向き等に配慮すること。
- (2) 音声合成メッセージスイッチ等
 - 電子サイレン内蔵の音声合成メッセージのスイッチを電子サイレンアンプとは別にダッシュボード上部スイッチ盤に以下の通り設けること。
 - ・右左折
 - ・後退
 - ・出動予告
 - ・渋滞通過
 - ・交差点進入
 - ・協力感謝
- (3) サブバッテリー
 - ア バッテリーはバッテリー上がり防止及びリスク分散化の為、標準バッテリー(走行用バッテリー)とは別にサブバッテリー(機装用)を設けそれぞれを別系統とすること。
 - イ サブバッテリーは引出しレールを設けて、点検及び交換が容易に行える構造とすること。
 - ウ サブバッテリーは、急速充電に適したリチウムイオンタイプとすること。
- (4) バッテリー充電器等
 - ア バッテリー管理器により、待機中にバッテリー充電が可能な構造とすること。
 - イ 外部充電は急速充電にてバッテリーへ充電すること。
 - ウ アイドリング中のオルタネータの発電量を利用してバッテリーに充電が可能な構造とすること。
- (5) ACDC正弦波インバーター
 - ア 出力500W以上の正弦波インバーターを車内に設置すること。
 - イ 運転室内に2口1か所インバーター出力の100Vコンセントを設けること。
 - ウ 患者室内右側側面に2口6か所インバーター出力の100Vコンセ

ントを設けること。

(6) AC 100V 外部入力コンセント

ア ボディ右側面に埋込式マグネット型外部入力コンセントを設けること。

イ 電源供給用のケーブル (10m) を付属すること。

(7) スターターカット

ア 外部電源接続時にキーシリンダーを回してエンジンが掛からないようにすること。

イ 外部電源接続がわかるランプをフロントパネルに設けること。

(8) AC 100V・DC 12V 電源自動切替改造

ア 外部入力接続時に自動切り替えにより室内に設置した 100V コンセントを使用できるようにすること。

イ 外部入力接続時に自動切り替えにより室内灯を使用できるようにすること。

ウ 車室内装備品において電源供給を要する機器は、インバーターからの供給と外部電源から供給する 2 電源式とすること。

エ 外部電源を優先する構造とすること。

(9) 電圧計

ア シャシ用バッテリーの電圧を確認できるようにすること

イ アナログパネル電圧計をフロントに設けること。

(10) 電流・電圧・残量モニター

ア サブバッテリーの状態を確認できるモニターを設けること。

イ モニターは液晶画面として、電圧、電流、容量を切り替え確認できるようにすること。

(11) 路肩灯

ア 後輪前側に LED 照明灯を取り付けること。

イ 点灯方法は、オートライト連動とすること。

(12) バックブザー

ア 後退警報器をシャシ後方下部に取り付けること。

イ 消音スイッチをダッシュボード上部スイッチ盤に設けること。

(13) ドア開放時警告ブザー

ア 全ドア感知の半ドア警告ブザーを取り付けること。

イ パーキングブレーキを下した状態でドア解放時にブザー音が鳴る機構とすること。

(14) 電子サイレンアンプ

ア フロントダッシュボード付近に音声合成機能付電子サイレンアンプを設置すること。

イ サイレンアンプから接続する専用サイレンリモートマイクを付属すること。

(15) 運転席フレキシブルマイク

ア 運転席ドア上部に拡声用フレキシブルマイクを取り付けること。

イ ON/OFF スwitch を取り付けること。

(16) モーターサイレン

- ア フロントバンパー内部に 5 型電動サイレンを取付けすること。
- イ スイッチはフロントパネルに取り付け、電子サイレン音と同時吹鳴できる構造とすること。
- ウ 助手席足踏み式スイッチを取り付けること。
- エ モーターサイレンは自動吹鳴リレー付きとすること。

(17) デイタイムライト

- ア フロントグリル部にデイタイムライト（青色）を取り付けること。
- イ ヘッドライトの点灯に連動して自動消灯できる構造とすること。

(18) アースボンディング

確実な導通を確保するため、次の位置にアースボンディング工事を施すこと。

7、患者室

(1) 隔壁

感染症対策として、運転席と患者室の間に陰圧対応スライド扉式隔壁を設けること。

(2) 運転席後方収納庫

運転席後方に縦型の収納庫を設け、棚板を 2 段設置し高さを容易に替えることができるようにすること。

(3) 酸素ボンベ収納庫

- ア 患者室左側前方に 10 L 酸素ボンベ（2 本）の収納庫を設け、固定装置を取り付けること。
- イ 酸素ボンベを受け台及びロック機構にて取り付けること。
- ウ 固定装置は、減圧弁が患者室内から容易に操作でき、圧力計の視認が可能な構造とすること。
- エ 酸素ボンベは容易に交換できる構造であること。

(4) リヤクーラー上部オーバーヘッド収納庫

- ア 患者室オーバーヘッド部に収納庫を設けること。
- イ 上開き式扉を設けること。
- ウ 予備毛布・レスキューツール等を収納するのに十分なスペースを確保すること。
- エ 収容物飛び出し防止ベルトを取り付けること。

(5) ルーフ左収納庫

- ア 患者室左上部に収納庫を設けること。
- イ 上開き式扉を設けること。
- ウ 内部の構成は扉 3 枚とし、後方の収納庫は長物等が収納可能なように貫通構造とすること。

(6) メディカルシート

- ア メインストレッチャー積載架台装置の頭部側から、患者観察、器具操作等が容易に行える位置に 1 基備えること。
- イ 3 点式シートベルトを有すること。

- ウ 180 度回転し、車両前方向きでも着座できるようにすること。
- エ 防汚シートとすること。
- (7) 独立式パッセンジャーシート
 - ア 左側面後方に、独立シート 3 席をそれぞれ横向きに設けること。
 - イ 前向きから右へ 90 度回転できる機構及び 3 点式シートベルトを有すること。
- (8) 燃料タンク点検口
 - 患者室床面の燃料タンク上部に蓋を設けて、燃料ポンプ等を点検及び交換できるようにすること。
- (9) 換気扇
 - ア 患者室後方バックドア上部に換気扇を設けること。
 - イ スイッチは患者室スイッチパネルとすること。
 - ウ 換気扇フィルターは交換が容易に行えるようにすること。
- (10) 天井アシストグリップ
 - ア 患者室上部にアシストグリップを設けること。
 - イ グリップはストレッチャーを囲むように C 型に設けること。
- (11) バックドア大型乗降グリップ
 - ア バックドア開口部左側に備えること。
 - イ グリップ部にはゴムクッション巻きとすること。
- (12) 車輪止め
 - ア スライドドアステップ下部に車輪止め固定具を設けること。
 - イ ゴム製・車両適応品とすること。
- (13) 車載用消火器
 - ア 自動車用 A B C 粉末 4 型消火器を患者室内に設置すること。
 - イ 患者室右側後方横向き座席下部の活動に支障のない位置に設置すること。
- (14) 可搬型 2L 酸素ボンベ収納
 - ア 患者室に横向き座席下部に可搬型 2L 酸素ボンベを収納できるようにすること。
 - イ 設置時は、ベルト等でガタつきのないよう固定できることとし、最大で 2 本設置可能とすること。
- (15) バックボード固定ベルト
 - 患者室横向き席上部にバックボードをベルトにて固定できる構造とすること。
- (16) 患者室上部収納ネット
 - 患者室上部に収納ネットを 3 か所設けること。
- (17) 積載架台用フローア補強
 - メインストレッチャー積載架台を取り付けるために床面の補強を行うこと。
- (18) サブストレッチャー等収納庫
 - ア 助手席後方に縦型収納庫を設け、内部にサブストレッチャー又は救急活動用資機材を収納すること。

- イ 必要に応じて内部に棚板を２段設置すること。
- (19) スクープストレッチャー及びバックボード収納庫
メインストレッチャー積載架台装置右側に、スクープストレッチャー及びバックボードを積載できるツインスライド式ストレッチャー収納庫を設けること。
- (20) ウォッシュャブルフロア
ア 床材は内装色と調和する色調とすること。
イ 患者室の床は水洗いに耐える構造のものであること。
ウ コーナー部分及び積載品等の防水処理は床面から一体で立ち上げ加工すること。
エ 患者室内に数か所散水用ノズルを設置し、水栓用ホースを接続することで、短時間で清掃が可能な構造とすること。
- (21) スライドドア大型乗降グリップ
ア スライドドア開口部右側に備えること。
イ グリップ部にはゴムクッション巻きとすること。
- (22) 回転フック
ア 患者室内縦型収納庫後方２ヶ所に回転フックを取り付けすること。
イ 取付位置等は別途指示する。
- (23) 冷温蔵庫
ア 患者室前方右側部に 10 L 以上の容量の冷温蔵庫を備えること。
イ 電源は A C ・ D C ２系統とし待機中に外部電源からの電力で使用可能な状態とすること。
- (24) メインストレッチャー (POWER BRAVA)
当病院が支給する次のストレッチャーを車両に取付すること。
ア ストレッチャー KARTSANA POWER BRAVA TG-1000
イ 上記ストレッチャー専用架台 R-1002A
- (25) 患者室内酸素配管等
ア 患者室内に敷設する配管は耐蝕性に富んだ高圧ホースを使用すること。
イ 配管は主として内装の中を敷設し、車室内に極力露出しない構造とすること。
ウ 酸素ボンベ接続部には三方チーズ（川重オスロ）を取り付けすること。
- (26) 点滴用フック
ア 点滴瓶２本を同時に固定可能なホルダーを取り付けすること。
イ 患者室内天井部に設置するアシストグリップの固定可能な構造とすること。
- (27) 収納庫内の緩衝材
患者室内に設ける各収納庫下面に収容物の緩衝材としてゴムマットを敷くこと。
- (28) 壁面断熱材処理
患者室壁面内に可能な限りの範囲に断熱材を貼付けすること。

8、運転室

(1) 運転席・助手席

ア 前席2名掛けとすること。

イ シートは防汚仕様のカバーを取り付けすること。

(2) 助手席インナーミラー

ルームミラー上部に後方確認用ミラーを設置すること。

(3) オンダッシュカバー

フロントダッシュボード上部に電子サイレン及び各種操作スイッチ設置用のセンタークラスターを設置すること。

(4) センターコンソールボックス

前席中央部はシートレス構造とし、上部に地図等を収納可能なB4サイズのトレイを設置すること。

(5) 電装品収納庫

ア 運転室天井部にインバーター・充電器等の電装品収納庫を設けること。

イ 機器収納スペースは容易に点検が可能な構造とすること。

(6) 運転席背面地図入れ

運転席側背面にB4サイズの地図入れを設置すること。

(7) 運転席上部収納ネット

運転室内天井部にネット収納を2箇所設置すること。

(9) ティッシュ・グローブボックス

運転室内天井部にティッシュ・グローブボックスを1個設置すること。

(10) 回転フック

運転席・助手席後方にヘルメット掛け用の回転フックを2箇所設置すること。

9、レールシステム

(1) フリーレイアウトレールシステム

ア 患者室には救急活動用医療器及び資機材等を収納する為のフリーレイアウトレールシステムを設置すること。

イ 設置場所は患者室運転席側全面に設置すること。

ウ 各種積載取り付け用アタッチメントを付属すること。

エ 将来医療機器の配置を変更する場合に容易に移動できる構造で取り付けすること。

オ 医療機器のレイアウト・配置については当病院と十分に協議すること。

(2) デジタル電波時計

患者室内にデジタル電波時計（温湿度計付）を1基設置すること。

(3) アナログ温湿度計

患者室内にアナログ温湿度計を1基設置すること。

(4) ルーフ右収納庫（大）

- ア 患者室内右側面レール上部前方に収納庫（２個扉式）を設置すること。
- イ 内部の収納物を落下しないよう落下防止措置を備えること。
- ウ 収納庫内側面には緩衝防止材を貼ること。
- エ 収納庫下部に支点用手摺りを取り付けすること。
- (5) ルーフ右収納庫（小）
 - ア 患者室内右側面レール上部後方に収納庫を設置すること。
 - イ 内部の収納物を落下しないよう落下防止措置を備えること。
 - ウ 収納庫内側面には緩衝防止材を貼ること。
 - エ 収納庫下部に支点用手摺りを取り付けすること。
- (6) ２段引き出し式収納庫
 - ア 患者室内右側面に引き出し付収納庫を設置すること。
 - イ 各引き出しに施錠装置を取り付けすること。
- (7) C型バネフック
 - 患者室内レール部にC型バネフックを５個取り付けすること。
- (6) 支給品医療資器材取付台座
 - 当病院が支給する医療資器材を固定する台座を取付すること。
 - 尚、支給する資器材は別途指示する。

1 0、その他

- (1) 足踏みリンク付ダストボックス 1 式
- (2) 車体看板文字書き
 - 当病院が指示する文字及びイラスト等を車体に記入すること。
- (3) 予備ヒューズ 1 式
- (4) 予備電球 1 式
- (5) 補修用塗料 タッチアップペン 1 式
- (6) ホワイトボード A4 2 枚セット 1 式

1 1、一般救急資機材

搭載する一般救急資機材は次のとおりとする。

- (1) バックボード プロライトスパインボードXTセット 1 式
- (2) プラスチックスクープストレッチャーXT 1 式

1 2、附属品

シャシ、艀装附属品は、別表 1 のとおりとする。ただし、取り付けを必要とするものについては、取り付けた状態で納入すること。

1 3、留意事項

- (1) 車体は全有蓋で密閉式構造であること。
- (2) 車体後部は、ストレッチャーによる搬出入が容易に行える構造であること。
- (3) 患者室のフローア、ルーフ、座席等の色調は協議すること。

- (4) 各種機器の固定、収納装置にあつては、走行時の振動等により移動、脱落等のないよう強固に作成し、異音等が発生しない構造にするとともに、活動時に有効に活用できるよう、細部については当院と十分協議すること。
- (5) ボルト、ナット類は、積載する資機材及び車内活動等を考慮し、使用する箇所に応じ皿ビス（ボルト）、袋ナット等を使用し、平面化を図ること。
- (6) シャシは雨水等による錆又はバッテリーの放電に注意し、完全な管理を行うこと。
- (7) 患者室等に取り付ける各種固定、積載装置部分には、内張り内に有効な補強を施すこと。
- (8) 塗装は防錆処理をし、剥離、ひび割れ等が発生し難い白色の塗装を施すこと。
- (9) 受注者は、車両製作上において艤装の一部を他の業者に外注する場合は、この仕様書の内容を満たすよう当該業者を指揮、監督すること。

以上

別表 1 C-CABIN 車両装備

別表 1-1 シヤシ主要装備

	品名	型式・規格	数量	単位
1	ヘッドランプ	LED メーカー純正品	1	式
2	電動格納式リモコンドアミラー	ヒーター付	1	式
3	パノラミックビューモニター	純正品	1	式
4	リヤクーラー		1	式
5	リヤヒーター		1	式
6	寒冷地仕様		1	式
7	運転席・助手席 SRS エアバック+プリテンショナー	フォースリミッタ機構 シートベルト付	1	式
8	デジタルインナーミラー		1	式
9	カラードマッドガード	フロント・リヤ	1	式
10	サイドバイザー	運転席・助手席	1	式
11	フロント LED フォグランプ		1	式
12	フロアマット (ゴムタイプ)		1	式
13	ナンバーフレーム	フロント・リヤ	1	式
14	車両標準工具	ジャッキ・ホイールナット トスピンレンチ	1	式
15	ETC2.0 車載器	ナビ連動タイプ	1	式
16	ナビゲーションシステム	TV チューナーレス	1	式
17	スタッドレスタイヤ	ホイール付 4 本	1	式
18	運転席アクセサリーコンセント	AC100V・100W	1	式
19	ドライブレコーダー	前後対応カメラ	1	式

別表 1-2 車体外観取付品

	品名	型式・規格	数量	単位
1	フロントドアステップ	滑り止め塗装+アルミ小筋蹴り板	1	式
2	フロントフェンダー部保護シート		1	式
3	スライドドアステップ	アルミ縞板+滑り止め塗装	1	式
4	助手席アウトサイドミラー		1	式
5	イーギークローザードア	左サイド・後部	1	式
6	後部ステップ (滑り止め付き)	可動式 2 段ステップ	1	式
7	患者室窓ガラス (曇りフィルム)	後面：全面 左サイド：2/3 スライドドア：2/3	1	式
8	患者室カーテン	左サイド、後方	1	式
9	足回り強化	ショックアブソーバー (フロント・リヤ) スタビライザー (フロント・リヤ)	1	式

		リーフスプリング		
10	足回り塗装	塩害防止（黒色）	1	式

別表 1-3 警光灯・ライト類

	品名	型式・規格	数量	単位
1	大型散光式赤色警光灯	高輝度 フロント・対空灯	1	式
2	大型散光式赤色警光灯	リヤ	1	式
3	大型散光式赤色警光灯	サイド	1	式
4	バックドア底面赤色点滅灯		1	式
5	助手席ルームランプ		1	式
6	患者室ルームランプ	LED 患者室天井部6灯・患者室左側上部2灯	1	式
7	患者室スポットライト	LED 患者室天井部4灯	1	式
8	バックドアスポットライト	LED バックドア上部	1	式
9	作業灯	LED 左右各2灯	1	式
10	フロント赤色補助警光灯	LFA-150 2灯	1	式
11	助手席フレキシブルマップランプ		1	式

別表 1-4 サイレン・電源等

	品名	型式・規格	数量	単位
1	高警告ワイドスピーカーシステム	50W×2 個	1	式
2	音声合成装置機能	右左折・後退・出動予告・渋滞・交差点・協力感謝	1	式
3	サブバッテリー及び収納庫	EB100 100Ah	1	式
4	サブバッテリースライド機構		1	式
5	走行充電器		1	式
6	外部充電用バッテリー充電器		1	式
7	正弦波インバーター		1	式
8	AC100V車内出力コンセント	運転室 2口1か所 患者室 2口6か所	1	式
9	AC100V外部入力コンセント	10mコード付き	1	式
10	スターターカット改造	ランプ付き	1	式
11	AC100V 電源切替改造		1	式
12	電圧計	シャシバッテリー用	1	式
13	バッテリー残量計	サブバッテリー用	1	式
14	路肩灯	LED	1	式
15	バックブザー	消音スイッチ付	1	式
16	ドア開閉時警告ブザー		1	式
17	電子サイレンアンプ	大阪サイレン OPS-D151	1	式
18	運転席フレキシブルマイク	大阪サイレン UD-200	1	式
19	モーターサイレン		1	式

20	デイライト	青色	1	式
21	アースボンディング		1	式

別表 1-5 患者室内装備

	品名	型式・規格	数量	単位
1	隔壁	陰圧対応スライド扉式	1	式
2	運転席後方縦型収納庫	仕切り棚付き、B4 書類入れ付き	1	式
3	酸素ボンベ収納庫	9.4L アルミボンベ2本対応	1	式
4	リヤクーラー上部収納庫		1	式
5	ルーフ左収納庫		1	式
6	メディカルシート（後向き席）	180 度回転機構 ELR3 点式シートベルト付	1	式
7	パッセンジャーシート（3 席）	90 度回転機構 ELR3 点式シートベルト付	1	式
8	燃料タンク点検口		1	式
9	換気扇	電動式	1	式
10	天井アシストグリップ	大型 C 型アシストグリップ	1	式
11	バックドア大型乗降グリップ		1	式
12	車輪止め	ゴム製 車両適応品	1	式
13	車載用消火器	自動車用 ABC 粉末 4 型	1	式
14	可搬式 2L 酸素ボンベ収納		1	式
15	バックボード固定ベルト		1	式
16	患者室上部収納ネット	天井 3 か所	1	式
17	積載架台用フローア補強		1	式
18	サブスト収納庫	標準：2 段可変棚	1	式
19	スクープストレッチャー及びバックボード収納庫		1	式
20	FRP フロア	散水ノズル付	1	式
21	スライドドア乗降グリップ	大型	1	式
22	回転フック	縦型収納庫後方 2 ヶ所	1	式
23	冷温蔵庫	13L 縦型収納庫後方	1	式
24	ストレッチャー積載架台	POWER BRAVA（支給品）	1	式
25	三方チーズ	川重 オス（病院用）	1	式
26	酸素配管	ポリレタン（緑・黄色）各 1 本 川重オス	1	式
27	点滴用フック 天井パイプ	点滴瓶 2 本用	1	式
28	各収納庫緩衝材貼付		1	式
29	壁面断熱材処理		1	式

別表 1-6 運転室装備

	品名	型式・規格	数量	単位
1	運転席・助手席シートカバー		1	式
2	助手席インナーミラー		1	式
3	オンダッシュカバー	電子サイレンアンプ用	1	式
4	センターコンソール地図入れ	B4 サイズ	1	式
5	天井電装品収納庫		1	式
6	運転席背面地図入れ	B4	1	式
7	前席上部収納ネット		1	式
8	ティッシュ・グローブボックス	前席上部 1 個	1	式
9	回転フック	前席後方 2 ヶ所	1	式

別表 1-7 レールシステム（患者室右側面）

	品名	型式・規格	数量	単位
1	フリーレイアウトレールシステム		1	式
2	デジタル電波時計（温湿度計付）	電池式	1	式
3	ルーフ右収納庫（大）	下部手摺パイプ付	1	式
4	ルーフ右収納庫（小）	下部手摺パイプ付	1	式
5	2 段引き出し収納庫	鍵付き	1	式
6	C 型バネフック		5	式
7	支給品医療資器材取付台座		1	式

別表 1-8 その他

	品名	型式・規格	数量	単位
1	足踏みリンク付ダストボックス		1	式
2	車体看板文字書き		1	式
3	予備ヒューズ		1	式
4	予備電球		1	式
5	補修用塗料	タッチアップペン	1	式
6	ホワイトボード	A4 2 枚セット	1	式

別表 1-9 一般救急資機材

	品名	型式・規格	数量	単位
1	バックボード	プロライトスパインボード X T セット	1	式
2	スクープストレッチャー	プラスチックスクープストレッチャー X T	1	式